

地域課題の解決に奔走しています！

保守系女性議員の総力を結集!

女性の視点から地方の声を発信

北海道の確かな未来を築くため、今こそ女性の視点から地方の声を発信し、政策に盛り込んでいく所存です。昨年末からは、私が幹事長を務める道内の自民党・保守系女性地方議員が結集した「北海道自民党・保守系女性議員連絡協議会(通称:すずらんの会)」が活動を本格化させています。地域の声を踏まえて積極的に提言し、政策実現に向けてその役割を担っていく決意です。



令和5年度当初予算案に重点要望を反映！

札幌市の令和5年度当初予算案が1月30日に発表され、一般会計の総額は過去最大の1兆1922億円(前年度当初比2.6%増)となりました。市長選を控えているため、義務的経費が中心の骨格予算ですが、私たち市議会自民党議員会が市長に申し入れていた経済活性化や子育て支援、教育の充実、雪対策、まちづくりなどの重点要望が反映されました。予算案については、2月13日開会の市議会で議論し、誰もが住みよいまちを実現するための予算となるよう入念に磨き上げたいと思います。



地下鉄さっぽろ駅連絡通路の柵を撤去

地元町内会からの陳情を受けて、通行の妨げになっていた地下鉄さっぽろ駅の南北線と東豊線をつなぐ連絡通路の柵の撤去を実現。市議会を代表してセレモニーに出席しました。



住民や子供たちが安心して過ごせる「北13条いこい公園」を実現

地域の皆さまの要望を受けて平成24年、北13条西2丁目に「北13条いこい公園」の開設を実現しました。公園が少なかった地域であり、子供から高齢者まで幅広い世代が憩い、災害時は避難場所としても活用されています。



亡き主人(光之)が尽力した住民待望の新琴似北流雪溝の開通

冬期の道路の安全通行になくてはならない施設であり、地域住民から切望されていた新琴似北流雪溝が平成22年に供用開始され、私も開通式に出席し、感無量でした。



令和5年度、地下通路が北8西1地区まで延伸

地元の皆さん待望の事業がいよいよ完成へ

亡き主人(光之)をはじめ地元(鉄西地区)の皆さんが待望していた、北8条西1丁目と地下鉄東豊線さっぽろ駅コンコースをつなぐ地下通路が、いよいよ完成間近となりました。令和5年度中に完成予定で、都心部の回遊性が高まり、1年を通じて安全・快適な歩行空間が形成されます。



速いでございます
新幹線駅開業に合わせ
駅周辺の再開発が加え



私の活動を支えていただいている後援会女性幹部の皆さまと綿密に意見交換しています。



医療政策を考える上で、北区篠路で横山内科病院を経営する横山英明(義弟)と文明(甥)は頼りになる存在。